

## 工業英語(Engineering English)

担当教員名	内田 省司	
学科・専攻、科目詳細	都市システム工学科 5年 前期 2単位 学修単位 講義	
学科のカリキュラム表	専門科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	専門工学科目 実務系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(5%) B-1(25%) E-2(70%)
	JABEE基準1(1)	(d)(f)
科目的概要	科学・工業技術および建設技術に関する英語の語彙を増やし、技術論文の精読や英語での発表ができる能力の向上を目指す。前期（内田）は、自己表現できる英語の書き方を学ぶ。工学系においても必須であるTOEIC試験で高得点が取れるよう、出題の形式、勉強の仕方を説明し模擬練習を通して得点力アップを目指す。後期（稻積・神田）は、土木学会論文集等の技術論文のAbstractを多読することにより、Abstractの作成手法を学ぶとともに、各自の卒業論文のabstractを作成する。	
テキスト(参考文献)		
履修上の注意	授業時には辞書(電子辞書も可)を持参すること。 本科目は、授業で保証する学習時間と、予習・復習および課題レポート作成に必要な標準的な自己学習時間の総計が90時間に相当する学習内容である。	
科目的達成目標	(1)基礎的な科学・工業技術および建設技術に関する知識や技術英語を理解できる(B-1)(E-2)。 (2)科学・工業技術および建設技術に関する語彙を蓄積し、英文読解や基礎的なコミュニケーション能力が養成できる(A-2)(E-2)。 (3)200～400ワード程度の技術論文のabstractが作成できる。 (4)TOEICスコア650点を目標とする。	
自己学習	語彙テストの準備、授業の予習、復習を欠かさないこと。	
目標達成度(成績) の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	定期試験(70%)および平常点(30%)を総合して評価する。定期試験ではTOEIC模擬問題を実施する。平常点は毎回行う小テストおよび自己表現レポートで評価する。 60%以上達成したものを合格とする。	
連絡先		

授業の計画・内容	
<b>第1週 オリエンテーション・TOEIC ガイダンス</b>	授業の進め方、評価方法、TOEICの試験について説明を行う。
<b>第2週 リスニング・セクション練習</b>	Part(1)写真描写問題、およびPart(2)応答問題を行う。
<b>第3週 リーディング・セクション練習</b>	Part(5)短文穴埋め問題、およびPart(6)長文穴埋め問題を行う。
<b>第4週 リスニング・セクション練習</b>	Part (3)会話問題、およびPart(4)説明文問題を行う。
<b>第5週 リーディング・セクション練習</b>	Part(7)読解問題を行う。
<b>第6週 TOEIC(文法・語彙)</b>	文法と語彙に絞って練習を行う。
<b>第7週 英語自己表現(1)</b>	自分の考えを効率よく英語で表現するための練習を行う。
<b>第8週 中間考查</b>	TOEIC模擬問題、および各パートを総合した練習問題を中間考查とする。
<b>第9週 リスニング・セクション練習</b>	Part(1)写真描写問題、およびPart(2)応答問題を行う。
<b>第10週 リーディング・セクション練習</b>	Part(5)短文穴埋め問題、およびPart(6)長文穴埋め問題を行う。
<b>第11週 リスニング・セクション練習</b>	Part(3)会話問題、およびPart(4)説明文問題を行う。
<b>第12週 リーディング・セクション練習</b>	Part(7)読解問題を行う。
<b>第13週 TOEIC(文法・語彙)</b>	文法と語彙に絞って練習を行う。
<b>第14週 英語自己表現(2)</b>	自分の考えを効率よく英語で表現するための練習を行う。
<b>第15週 総復習</b>	第1週～14週のまとめを行う。
<b>期末試験</b>	